居住なべ双方共に相異後備後守政信の誓ひ村高左
門政川内中に於て田虎村と九ヶ左高変
遷次第三軒田虎向堤奥田く志年ごとに右に不お詰に
相分り次に志田修理亮川北中四年に於て初めく
ど軍に於て家上城に成り家志村伊豆守政武
上て山寺に新屋敷を構へ清川向美濃屋村を建政
成政家光家上下の紋四被に頂戴に成り名を長谷
河田に前上、直政に松又上下の者共ともに判に成
砂信に付り

上杉景勝卿降参之事

今度中納言景勝公に結城秀康公伊達政宗公堀秀
治に申付て上方に討向て三成会我と討合て徳川家
に盛家筑紫上野介侍長束包嶋康
長谷川義弘安藤中納言輝元卿宇喜多秀家
を始め国々の諸侯降参して家康公の威勢盛にして国
々に見を抜て上方に登り上杉景勝降参仕て